

大学生における好かれる男性及び女性の特性

- 評定尺度による検討 -

豊田弘司

(奈良教育大学心理学教室)

The traits of males and females that are liked in undergraduates.

—An examination by using rating scales—

Hiroshi TOYOTA

(Department of Psychology, Nara University of Education)

要旨：本研究の目的は、大学生において同性および異性から好かれる男性及び女性の特性を明らかにすることであった。335名の大学生を調査対象として、「女性から好かれる女性」「女性から好かれる男性」「男性から好かれる男性」及び「男性から好かれる女性」について24項目の特性にあてはまる程度を6段階で評定してもらった。その結果、男女ともに異性から好かれる特性として「やさしい」「思いやりがある」「信頼できる」及び「友達を大切にする」が重視されていた。また、女性の方が男性よりも重視する特性が多いことが示された。一方、同性から好かれる特性については、男性と女性の違いは少なく、「話しやすい」「友達を大切にする」「信頼できる」「性格に裏表がない」「思いやりがある」「気さくである」「明るい」「おもしろい」及び「つきあいがよい」が男女ともに共通して重視されていた。

キーワード：好かれる男性 liked male, 好かれる女性 liked female, 評定尺度 rating scales

1. はじめに

近年、対人関係に問題がある児童・生徒についての議論が盛んであるが、対人関係において人から好かれる特性や嫌われる特性を認識しておくことは重要である。というのは、好かれる特性を意識し、行動することで対人関係が円滑化する可能性が増すし、嫌われる特性を意識することによって、無用な対人関係のトラブルを避けることができるからである。このような好かれる特性や嫌われる特性は対人魅力と呼ばれ、多くの研究がなされてきた。対人魅力における古典的な研究としては、Anderson (1968) がある。そこでは、大学生に555の性格特性語を示し、それぞれの語が示す特性をもつ人物の好意度を評定させた。その結果、平均好意度評定値の最も高い上位2特性語は「誠実な」「正直な」であり、低い下位2特性語は「うそつき」「いかさま師」であった。この結果は、「正直 - うそつき」という次元が対人魅力において重要であることを示唆している。一方、我国では、松井・江崎・山本 (1983) が、「もっとも魅力を感じる異性」の特性を調査している。その結果は、男性像及び女性像ともに、

「思いやりのある」「やさしい」が上位にあがっていた。これは、日本では「他者への思いやり」が対人魅力における重要な次元であることを示している。

このように、対人魅力における重要な次元が指摘されてきたが、上述の研究は、誰から好かれるのかという視点に欠けていた。そこで、豊田 (2000a) は、上述したような視点に基づいて、「好かれる特徴」に注目し、「女性から好かれる男性」「女性から好かれる女性」「男性から好かれる男性」及び「男性から好かれる女性」の特徴を自由記述によって検討した。ただし、この研究は自由記述なので、得られるデータが頻度データであるために、詳細な分析ができなかった。そこで、本研究では、評定尺度を用いて、「女性から好かれる男性」「女性から好かれる女性」「男性から好かれる男性」及び「男性から好かれる女性」の特性を明らかにする。

2. 方 法

2. 1. 被調査者

大学生335名 (男180名、女155名) であり、平均年

年齢19歳10か月（18歳4か月～22歳3か月）であった。

2. 2. 材料

「男性から好かれる男性」、「男性から好かれる女性」、「女性から好かれる男性」及び「女性から好かれる女性」のそれぞれの特性に対する適合度を評定してもらうための調査用紙を作成した。この用紙はA5判であり、Table 1 及び 2 に示したように、好かれる特性として豊田（2000a）において自由記述された特性の中で出現頻度の高い24特性が印刷されていた。また、各特性の右横に適合度評定値を記入するための（ ）が設けられていた。なお、この用紙の最上部には、年齢を記入する欄が設けられていた。

2. 3. 手続

集団調査を実施した。被調査者は、配布された上述の調査用紙に指示された「女性から好かれる男性」、「女性から好かれる女性」、「男性から好かれる男性」及び「男性から好かれる女性」に該当する特定の人物を想定して、該当する特徴について1つずつ、あてはまる程度を6段階（非常によくあてはまる（6）から全くあてはまらない（1））で評定していった。被調査者は配布された上述の調査用紙に指示された適合性の程度に応じて、1～6の評定値を（ ）に記入していった。なお、すべての被調査者が評定を終えるのに、10分を要した。

3. 結果と考察

3. 1. 異性から好かれる特性

Table 1 の左欄には「女性から好かれる男性」、右欄には「男性から好かれる女性」の特性ごとの平均評定値が高い順に示されている。順位は「女性から好かれる男性」については女子学生のデータ、「男性から好かれる女性」については男子学生のデータに基づいている。平均評定値の性差に関してt検定を行った結果、有意であった特性が*印によって示されている。また、平均評定値が4.00以上の特性のみを取りあげて異性から好かれる男性及び女性の特性の関係を示したのが、Fig. 1 である。図中のフォントの大きさは平均評定値の高さに対応している。

3. 1. 1. 男女に共通する異性から好かれる特性

Fig. 1 のベン図の中央の部分が男女に共通する好かれる特性ということになる。「やさしい」「思いやりがある」「信頼できる」「友達を大切に使う」という4つの特性は男女ともに「異性から好かれる特性」として強く意識されていることがわかる。自由記述を用いた豊田（2000a）においても、「やさしい」は同じく上位特性としてランクされていた。しかし、「思いやりがある」については「女性から好かれる男性」の特徴としては上位特性であったが、「男性から好かれる女性」の特性としては上位特性ではなかった。さらに、「信

頼できる」「友達を大切に使う」は、「同性から好かれる特性」としては上位にランクされたが、「異性から好かれる特性」としては、上位特性ではなかった。自由記述の場合は、被調査者の最も重視する特性が意識されるので、それ以外の特性が抽出されにくい可能性がある。本研究で用いた評定尺度では、「異性に好かれる特性」として、自由記述では抽出されない特性が明らかになったといえよう。

このように、自由記述と評定尺度の違いは、「好かれる教師像」「嫌われる教師像」を検討した豊田（1996）と豊田（2000b）の間、「同性から嫌われる特徴」「異性から嫌われる特徴」を検討した豊田（1998）と豊田（1999）の間でも認められている。

3. 1. 2. 女性から好かれる特性と男性から好かれる特性の違い

共通する特性以外の特性は、「女性から好かれる男性」（Fig. 1 の左部分）と「男性から好かれる女性」（Fig. 1 の右部分）に示されている。前者の部分に記された特性数（5項目）が、後者のそれ（1項目）よりも多い。これは、女性の方が男性よりも異性の特性として重視している特性が多いということである。「異性から嫌われる特性」を検討した豊田（1999）でも、共通特性以外の「女性から嫌われる男性」と「男性から嫌われる女性」の特性は、前者が5項目、後者が2項目となっている。これらを併せて考えると、女性は男性に比べて多くの特性を検討して異性の好みを決定していることがうかがえる。また、竹村（1987）は、女性が、異性を選ぶ際に、つきあう期間によって、調べる情報が異なることを明らかにしている。すなわち、つきあう期間が短い場合には主に「外見」に関する情報を、その期間が長い場合には「思いやり」などの内面的特性に関する情報を調べるが、男性はそのような違いはなかったと報告されている。松井（1993）は、竹村（1987）を引用して、女性が男性よりも恋愛において情報をうまく利用した詳細な処理が可能であることを指摘している。これらの研究も併せて考えると、女性は異性（男性）について多くの判断基準を持っていることがうかがえる。

3. 1. 3. 好かれる特性における男女による認識の違い

Table 1 の性差をみると、男子学生と女子学生にそれぞれ認識の違いがあることがわかる。「女性から好かれる男性」の特性に関しては、女子学生の評定値が基準になるわけであるから、*印の特性については男子学生は「女性から好かれる男性」の特性についての認識がずれていることになる。反対に「男性から好かれる女性」の特性については男子学生の評定値が基準になるわけであり、*印の特性については女子学生の認識がずれていることになる。たとえば、「信頼できる」や「頭がよい」という特性は、男子学生が認識し

Table 1 異性から好かれる特性ごとの平均評定値とSD

女性から好かれる男性						男性から好かれる女性							
順位	特性	男子学生		女子学生		性差	順位	特性	男子学生		女子学生		性差
		平均	SD	平均	SD				平均	SD	平均	SD	
1	信頼できる	4.99	1.05	5.43	.79	***	1	優しい	5.46	.83	5.56	.64	
2	優しい	5.47	.68	5.34	.75		2	思いやりがある	5.30	.89	5.41	.77	
3	思いやりがある	5.11	.85	5.23	.81		3	話しやすい	5.27	.87	5.18	.84	
4	話しやすい	5.02	1.02	5.14	.92		4	清潔	5.22	.96	5.37	.79	
5	しっかりしている	4.72	1.07	5.12	.92	***	5	性格に裏表がない	5.19	1.10	4.95	1.16	
6	友達を大切にする	4.47	1.17	4.95	.91	***	6	正直である	5.13	.98	4.85	.95	***
7	明るい	5.06	.90	4.91	.86		7	明るい	5.09	.97	5.29	.67	*
8	性格に裏表がない	4.19	1.37	4.87	1.11		8	容姿がよい	5.06	.92	5.18	.81	
9	正直である	4.37	1.17	4.83	1.01	***	9	気配りができる	5.05	.97	5.48	.70	***
10	おもしろい	4.92	.96	4.80	.89		10	信頼できる	4.93	.96	4.78	.93	
11	気さくである	4.46	1.10	4.69	1.02		11	友達を大切にする	4.76	1.05	4.64	1.02	
12	清潔	4.72	1.03	4.68	.94		12	気さくである	4.70	1.11	4.85	.87	
13	気配りができる	4.66	1.03	4.68	.94		13	女らしい	4.67	1.23	4.89	.96	
14	男らしい	4.33	1.14	4.66	1.08	**	14	聞き上手	4.43	1.16	4.95	.97	***
15	話がうまい	4.93	.97	4.59	1.08	**	15	つきあいがよい	4.39	1.16	4.43	.92	
16	容姿がよい	4.71	1.10	4.25	.99	***	16	おしゃれ	4.36	1.11	4.66	.93	**
17	スポーツができる	3.98	1.22	4.23	1.16		17	しっかりしている	4.27	1.21	3.69	.97	***
18	聞き上手	4.51	1.04	4.15	.96	**	18	おもしろい	4.20	1.10	4.23	1.11	
19	おしゃれ	4.30	1.02	4.12	1.07		19	話がうまい	3.93	1.11	4.20	1.08	*
20	リーダーシップがとれる	3.56	1.28	4.11	1.08	***	20	頭がよい	3.51	1.47	3.30	1.13	
21	つきあいがよい	4.20	1.09	4.11	1.03		21	スポーツができる	2.60	1.28	2.86	1.19	
22	頭がよい	3.44	1.27	4.10	1.07	***	22	お金持ち	2.57	1.41	2.61	1.14	
23	お金持ち	3.51	1.33	3.39	1.18		23	リーダーシップがとれる	2.52	1.28	2.75	1.06	
24	自分より容姿が悪い	2.02	1.09	1.94	.91		24	自分より容姿が悪い	1.68	1.01	1.75	.95	

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

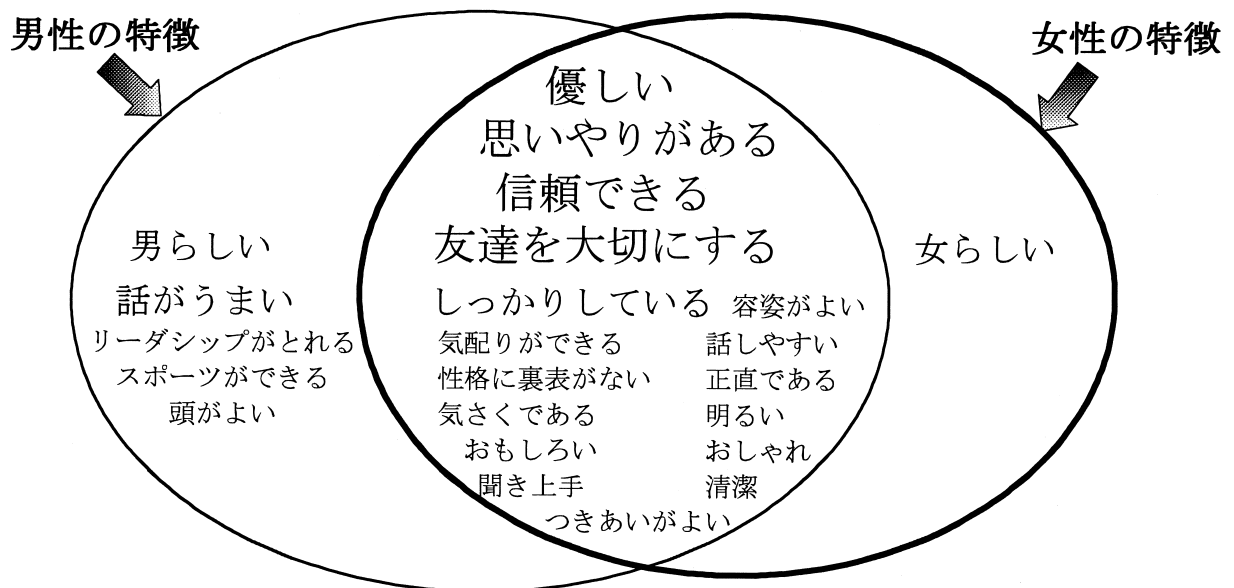


Fig. 1 異性から好かれる特性

Table 2 同性から好かれる特性ごとの平均評定値とSD

男性から好かれる男性						女性から好かれる女性							
順位	特性	男子学生		女子学生		性差	順位	特性	男子学生		女子学生		性差
		平均	SD	平均	SD				平均	SD	平均	SD	
1	信頼できる	5.37	.81	5.47	.83		1	話しやすい	5.18	.87	5.63	.60	**
2	友達を大切にする	5.35	.92	5.52	.76		2	友達を大切にする	5.42	.82	5.63	.60	**
3	話しやすい	5.20	1.02	5.31	.71		3	信頼できる	5.16	.91	5.48	.74	***
4	おもしろい	5.17	.93	5.23	.79		4	性格に裏表がない	5.31	.95	5.46	.82	
5	つきあいがよい	5.17	1.02	5.45	.77	**	5	思いやりがある	5.04	.91	5.37	.69	***
6	気さくである	5.10	.90	5.28	.85		6	気さくである	4.90	1.01	5.32	.74	***
7	明るい	4.98	1.05	5.23	.78	*	7	優しい	4.84	1.04	5.23	.82	***
8	話がうまい	4.97	1.14	5.12	.90		8	明るい	5.08	.89	5.22	.79	
9	性格に裏表がない	4.95	1.19	5.31	.75	**	9	正直である	4.82	1.03	5.01	.99	
10	正直である	4.78	.98	4.78	.94		10	気配りができる	4.74	1.01	4.97	.89	*
11	思いやりがある	4.68	1.05	4.64	.89		11	おもしろい	4.47	1.20	4.89	.93	***
12	しっかりしている	4.44	1.13	4.59	1.04		12	聞き上手	4.96	.98	4.86	.89	
13	気配りができる	4.41	1.03	4.00	1.05	***	13	つきあいがよい	5.14	.90	4.84	.98	**
14	聞き上手	4.33	1.32	4.19	1.05		14	清潔	4.77	1.04	4.77	.96	
15	優しい	4.15	1.16	4.02	1.13		15	話がうまい	4.24	1.19	4.68	1.00	***
16	リーダーシップがとれる	3.97	1.41	4.19	1.23		16	しっかりしている	4.29	1.17	4.34	1.03	
17	清潔	3.88	1.31	3.61	1.29		17	おしゃれ	4.31	1.13	4.03	1.07	*
18	男らしい	3.74	1.38	4.17	1.20	***	18	リーダーシップがとれる	3.42	1.30	3.57	1.66	
19	おしゃれ	3.62	1.38	3.70	1.19		19	頭がよい	3.21	1.37	3.39	1.18	
20	スポーツができる	3.38	1.51	4.35	1.36		20	容姿がよい	3.32	3.26	3.26	1.22	
21	頭がよい	3.14	1.42	2.94	1.26		21	女らしい	3.39	1.30	3.04	1.16	*
22	容姿がよい	3.12	1.38	3.03	1.25		22	スポーツができる	2.66	1.30	2.76	1.36	
23	お金持ち	2.49	1.42	2.48	1.23		23	お金持ち	2.44	1.19	2.08	1.09	**
24	自分より容姿が悪い	1.90	1.16	1.92	1.02		24	自分より容姿が悪い	3.06	1.60	1.86	1.01	***

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

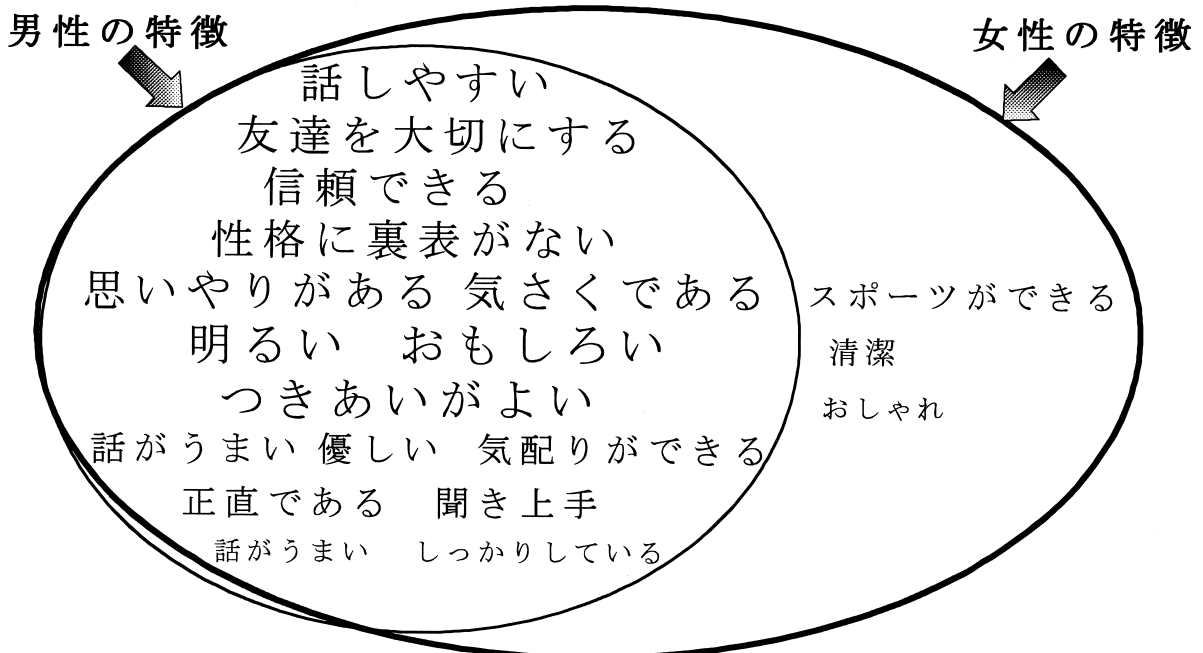


Fig. 2 同性から好かれる特性

ている以上に女子学生は重視しているといえよう。
*印のついた特性数を比較すると、「女性から好かれる男性」の特性が、「男性から好かれる女性」の特性よりも多くなっている（10特性と7特性）。すなわち、男子学生よりも女子学生の方が異性から好かれる特性については異性の認識に近い適切な認識を持っていると考えられる。したがって、適切な認識を持っているという点からすれば、異性との関係においては、女子の方が男子よりも適応的であるといえよう。

3. 2. 同性から好かれる特性

Table 2の左欄には「男性から好かれる男性」、右欄には「女性から好かれる女性」の特性ごとの平均評定値が高い順に示されている。「男性から好かれる男性」については男子学生のデータ、「女性から好かれる女性」については女子学生のデータに基づいている。また、平均評定値が4.00以上の特性のみを取りあげて同性から好かれる男性及び女性の特性の関係を示したのが、Fig. 2である。

3. 2. 1. 男女に共通する同性から好かれる特性

Fig. 2から明らかなように、同性から好かれる特性については、男性、女性に共通する特性が多いこととともに、それらを重視していることがわかる（図中のフォントが大きい）。同性から好かれる特性については、性による大きな違いはないことがうかがえる。

「話しやすい」「友達を大切に」「信頼できる」が上位の特性であったが、自由記述による豊田(2000)においては、「女性から好かれる女性」の特性として、「優しい」「おもしろい」「男性から好かれる男性」の特性として「おもしろい」が圧倒的に記述数が多かった。これらの特性も平均評定値としては高いが、自由記述を用いた場合との違いがここでも明らかにされた。

3. 2. 2. 女性から好かれる特性と男性から好かれる特性の違い

Fig. 2から明らかなように、同性から好かれる特性については男性の場合は完全に共通する特性のみで構成されている。一方、女性の場合には、3つの特性が共通特性以外に示されている。Fig. 1の異性の場合と同様に、同性に関しても女性の方が多くの判断基準をもっていることがうかがえる。

3. 2. 3. 好かれる特性における男女による認識の違い

Table 2の性差をみると、同性から好かれる特性について、男子学生と女子学生にそれぞれ認識の違いがあることがわかる。「男性から好かれる男性」の特性に関しては、男子学生の評定値が基準になるわけであるから、*印のついた特性については女子学生は「男性から好かれる男性」の特性についての認識がずれていることになる。反対に「女性から好かれる女性」の

特性については女子学生の評定値が基準になるわけであり、*印のついた特性については男子学生の認識がずれていることになる。注目すべき点を指摘すると、「男性から好かれる男性」については、男子学生は「気配りができる」という特性を好きな同性の特性として重視しているが、女子学生はその特性が男性同士において好かれる特性として重視されているとは認識していないことがわかる。また、女子学生が認識しているほど、「男らしい」という特性を男子学生は重視していないことがわかる。

一方、「女性から好かれる女性」については、「気さくである」「思いやりがある」「優しい」という特性を男子学生が認識している以上に女子学生は好かれる特性として重視していることがわかる。平均評定値は低かったが、最も性差が大きかったのは「自分より容姿が悪い」という特性であった。男子学生は、女性同士はお互いの容姿の比較に好意度が左右されるという認識を持っているが、女子学生はそのような容姿に関してはほとんど重視していないことが明確である。

このように、認識の違いを示した特性数を比較すると、「女性から好かれる女性」の特性が、「男性から好かれる男性」の特性よりも多くなっている(14特性と5特性)。すなわち、男子学生よりも女子学生の方が異性同士の好かれる特性についても適切な認識を持っていると考えられる。

4. 全体的考察

4. 1. 異性から好かれる特性

豊田(2000a)では、「女性から好かれる男性」と「男性から好かれる女性」で共通する記述で数が多かったのは、「やさしい」のみであり、異性から好かれる特徴における性差は大きいことが明らかになった。本研究においても、Fig. 1に示すように、共通する特性も多いが、男性と女性では、異性から好かれる特性が異なることがわかる。ただし、ここで注目すべきなのが、「男らしい」「女らしい」という特性の内容である。「男らしい」「女らしい」という特性の判断に関しては、他の特性との関連性が考えられる。それ故、「男らしさ」「女らしさ」の内容についてさらに検討する必要があるといえよう。

4. 2. 同性から好かれる特性

豊田(2000a)では、「男性から好かれる男性」の場合、「おもしろい」という特徴が顕著であったが、「女性から好かれる女性」では、「おもしろい」よりも「やさしい」という特徴が顕著であった。本研究においても、平均評定値を詳細にみていくと、「おもしろい」については男子学生の平均評定値が5.17、女子学生のそれが4.47であり、「やさしい」については男子学生それが4.15、女子学生のそれが4.84であり、豊田

(2000a) と一致していた。したがって、同性同士における好かれる特性の違いは追証されたといえよう。ただし、Fig. 1 の異性から好かれる特性と比較して、Fig. 2 に示されている同性から好かれる特性については、男性と女性で共通する特性が多いことがうかがえる。

4. 3. 好かれる特性の主観性と一般性

本研究では、被調査者に対して、特定の人物を想定するように教示した。それ故、各被調査者の主観的な好みは反映されやすかったといえる。しかし、特定の人物を想定できずに、一般的な好みによって評定している可能性も否定できない。特定の人物を想定できた場合とできない場合を区別して分析するなどして、好かれる特性の主観性と一般性を明確にすることが今後の課題である。

引用文献

- Anderson, N. H. 1968 Likableness ratings of 555 personality-trait words. *Journal of Personality and Social Psychology*, 9, 272-279.
- 松井 豊 1993 「恋ごろの科学」 サイエンス社
- 松井 豊・江崎 修・山本真理子 1983 魅力を感じる異性像 - 同性の推測と実際のズレ - 日本社会心理学会第24回大会発表論文集 44-45. (松井 豊 1993 による)
- 竹村和久 1987 異性選択過程の研究() - 相互作用期間の予期が選択過程に及ぼす効果 - 日本社会心理学会第28回大会発表論文集, 38. (松井 豊 1993 による)
- 豊田弘司 1996 回想された好きな教師と嫌いな教師 奈良教育大学教育研究所紀要, 32, 125-131.
- 豊田弘司 1998 大学生における嫌われる男性及び女性の特徴 奈良教育大学教育研究所紀要, 34, 121-127.
- 豊田弘司 1999 大学生における嫌われる特徴の分析 奈良教育大学教育研究所紀要, 35, 71-75.
- 豊田弘司 2000a 大学生における好かれる男性及び女性の特徴 奈良教育大学教育研究所紀要, 36, 73-76.
- 豊田弘司 2000b 好かれる教師像と嫌われる教師像 奈良教育大学教育研究所紀要, 36, 65-71.